

『平家物語』 国語教育の一側面 (5)

— 平家落人伝説の広がり的魅力 —

武田 昌憲

はじめに

『平家物語』の伝説地を、「那須与一」「木曾最後」「宇治川先陣」など中学・高校の教科書に載る話を中心に記してきた¹⁾が、それよりはるかに多い、敗者の平家方の伝説が各地に伝わっている。平家の落人伝説は、他に例を見ないくらい全国に渡り、広く・深く分布。過去の複雑な経緯は八百年の時の経過が持ち去り、今では多くが日本の原点・ロマンを感じる魅力的な里の存在を感じる所(観光名所)となっている。落人伝説の話は教科書にも語られることはない。しかし、多くの自治体で、「那須与一」「木曾最後」同様、町おこし・村おこしにも一役買っている。次に全国の落人伝説地について記しておく。

平家落人伝説

北海道 なし

青森県 つがる市の安徳天皇伝説。八戸市の平重

盛伝説。

岩手県 九戸郡野田村の重盛息子伝説。北上市の

平家落人高橋伝説。久慈市は重盛五兄弟

落人伝説。

宮城県 加美町の平昭盛・孝盛伝説。仙台市の平

重盛・貞能伝説。同市平長基伝説。同市

貞義落人伝説。

秋田県 秋田市の平家落人隠れ里。仙北市の平家

落人の里があつた。由利本庄市の落人伝

説。

山形県 最上町の平家落人の隠れ里。小国町に平

家落人集落があった。酒田市の平家盛の
平家落人伝説。

福島県

昭和村の平維盛の家臣の落人伝説。会津郡
松枝岐村の平家落人の里。平野・星・橘
姓の伝説。

茨城県

大子町の平家落人隠れ里。城里町の平重
盛・貞能伝説。

栃木県

日光市湯西川の平忠実落人伝説。同市の
平藤房落人伝説。那須塩原市の平貞能と
重盛妹の妙雲尼伝説。鹿沼市の平家落人
の里。

群馬県

片品村の平家方の尾瀬大納言藤原頼国落
人伝説。みなかみ町の平家落人集落。仲
之条町の平家落人伝説。神流町の平家落
人伝説と平将門伝説。

埼玉県

川口市に平高清（六代）が家臣と落ちて
住み着いた伝説。

千葉県

南房総市の平家落人隠れ里伝説と磨墨伝説。

東京都

日野市の平家落人・平維盛伝説。

神奈川県

横須賀市の三浦半島に平家落人の里。愛

山梨県

甲郡清川村の平家落人の里。
笛吹市の平時忠伝説。早川町の平家落人
の里。

長野県

飯田市の秋葉街道の平家落人伝説。南朝
遺臣伝説も。伊那市の平重盛の子孫落人
伝説。下水内郡の平勝秀落人伝説。

新潟県

津南町の平勝秀落人伝説と重盛伝説。村上
市の平家落人伝説・隠れ里、平頼盛の
隠れ里伝説。阿賀町の平家落人伝説。長
岡市の平頼盛落人伝説。糸魚川市の平頼
盛夫人の伝説。佐渡市は長谷部信連が落
ち延びた。

静岡県

松前町の平家武将佐藤庄司の隠れ里。富士
宮市の平家落人集落と維盛伝説。藤枝市
の平家落人隠れ里。森町の平家落人の末
裔伝説。浜松市天竜区の平家落人隠れ里。
南朝の隠れ里も。

愛知県

名古屋市緑区の維盛落人伝説。

三重県

津市に平家落人の里。維盛遺児六代ノ墓あ
り。維盛が家臣を伴い隠棲。松阪市に維

盛遺児六代が隠棲。平家落人の里もあり。伊勢市に知盛が壇ノ浦から落ちてきて隠棲。志摩市に平家落人の里。南伊勢町に維盛の遺児の孫平行盛が紀州から移り住み塩を焼いた集落。

岐阜県

白川村に倶利伽羅合戦に敗れた平家の残党が落ちてきた。高山市に平家落人隠れ里があった。また平家家臣高坂・佐藤・大蔵が隠棲。下呂市に平家落人伝説。郡上市に篠原合戦に敗れた平家の落人伝説いくつもあり。山県市に砺波合戦に敗れた平家の藤原家次が隠れ住んだ。

富山県

富山市の平家落人隠れ里があった。南砺市大牧・上百瀬・五箇山に平家の落人集落・隠れ里。維盛伝説、南朝宗良伝説あり。

石川県

珠洲市に平時忠・則貞配流による伝説。輪島市に平時国家（上時国家・下時国家）住宅・伝説。

福井県

勝山市に平家の落ち武者を葬った。福井市に維盛隠棲伝説。大野市に平家落人伝説

点在。倶利伽羅合戦や篠原合戦に敗れた平家の落人伝説。おおい町の重盛ゆかりの人物隠棲。越前市は平保盛が城福寺建立し平家の子孫が住職。

滋賀県

米原市に平家落人集落。大津市に平忠房の塚。甲賀市平家落人の里。

京都府

福知山市に平家落人の隠れ里。また上総五郎、越中次郎が当地に隠棲伝説あり。宮津市に平忠房の遺児伝説。与謝野町に平家落人の隠れ里があった。京丹後市に平家落人伝説。

大阪府

河内長野市に平家落人伝説。能勢町に安德天皇潜幸伝説。

奈良県

十津川村に平資盛が壇ノ浦から落ち延び玉木氏の祖となる。維盛の隠棲伝説あり。野迫川村にも維盛隠棲伝説。

和歌山県

那智勝浦町に維盛隠棲・末裔伝説。平光盛隠れ里あり。田辺市に平家落人集落があった。維盛が逃げてきた伝説。維盛と土地の娘との悲恋伝説。有田川町

に維盛隠棲伝説。みなべ町に平家落人伝説あり。源氏の討つ手に滅ぼされた。豊岡市に平家落人集落。越中次郎が隠棲。兵庫県

香美町に平教盛、平家長らが壇ノ浦から落ちのびるなどいくつも伝説あり。宍粟市に平家落人集落があった。上郡町に平経盛が郎等を率いて壇の浦から落ちてきて隠棲。後追手に見つかり自害。相生市に清盛八男平盛高の妻子や家臣が隠れ住む。南あわじ市に平家の落人が逃れてきたが自害した。

岡山県
真庭市に平家落人の里。笠岡市に水島合戦に敗れた平家の落人が隠れ住んだ。同市真鍋島も平家落人の島。久米南町は維盛が落ち延びて後裔が持安と称す。

広島県
福山市に平通盛が小宰相と家臣を伴い隠棲。三原市は平家の落人の地・集落などあり。江田島市に安徳天皇行宮伝説。庄原市に平教盛の妻玉織姫到来伝説。世羅町に平家落人の里があった。安芸大田町

に平家落人の墓。北広島町に安徳天皇と平時子が逃げてきた伝説。広島市に平家落人の城。尾道市の百島に壇の浦から平家一族が落ち延びた。

山口県
岩国市に平家落人が隠れ住んだ落人の里や、隠れ里などいくつもあり。岩国市錦町と周南市に平家落人広実左近の末梢伝説。柳井市に平家の落人集落。萩市に壇の浦から落ち延びた平家落人集落点在。平家七人の落人伝説。平清宗・安徳天皇侍女佐々連姫伝説。美祢市に平家落人隠れ

里。平宗国の妻真那が壇の浦から一族を率いて隠棲。長門市に平時子の遺骸が流れ着いた。壇の浦から平家の落人が流れ着いた。下関市は安徳天皇の遺骸が埋葬。また平家の落人の里。

鳥取県
若桜町に平経盛が郎等を伴い壇の浦から落ち延び、隠れ住んだ。後自害。八頭町・鳥取市は安徳天皇潜幸伝説。智頭町及び鳥取市に平家落人の隠れ里。三朝町に安

徳天皇潜幸。

島根県

太田市に平家の琴姫が壇の浦から逃げ延びた伝説。益田市に平家落人伝説。津和野町と吉賀町に安徳天皇壇の浦から落ち延びてきた伝説。

徳島県

三好市に屋島の合戦に敗れた平家の落人伝説。建礼門院墓と伝説。同市東祖谷・西祖谷は平国盛が安徳天皇を奉じた平家の落人伝説が点在。美馬市は知盛・安徳天皇伝説。つるぎ町は建礼門院自害伝説。東みよし町に平家財宝伝説。那賀町は平家落人集落や隠れ里。鳴門市は清盛の子勝盛が妻小夜姫と隠棲伝説。

香川県

丸亀市は平家落人が住んだ。観音寺市は平有盛が落ち延びてきた。まんのう町に平家落人隠れ里。

愛媛県

四国中央市は平清房等五人の武士が隠れ住む。内子町は清盛の五女登喜姫が逃れてきた伝説。伊方町は壇の浦から平家一門が安徳天皇を奉じて上陸した。八幡浜

高知県

市は平有盛等八人の上陸した所。集落を開く。宇和島市は壇の浦から落ち延びた平家の落人が惨殺された。

福岡県

馬路村は平家落人の集落があつた。平教経隠棲伝説。香美市は平資盛隠棲。また、平教盛が安徳天皇を奉じて潜幸。高知市に平家落人身投げ伝説。平家女人投身伝説。土佐町は安徳天皇を奉じた平家落人伝説。大川村は平家落人が陣容を整えた。いの町は平家落人隠棲。平家餓死伝説もある。安徳天皇伝説。仁淀川町は安徳天皇行宮のある集落が二か所。越知町は安徳天皇潜幸伝説。陵墓あり。四万十市は平家落人の隠れ里。大月町は壇の浦から流れてきた平家落人の伝説。

北九州市は平教盛の妻海御前伝説。平家の平休息やすおきは壇の浦合戦後、八木田と名乗つてこの地で隠れ住む。安徳天皇を村人がかくまう。宗像市は平知盛の子 信盛が妻と壇の浦から落ち延びた。糸島市は重

盛の妻が二人の娘を連れて隠れ住んだ。久留米市は建礼門院の侍女按察使局伊勢が壇の浦から落ち延びてきた。後に知盛の孫平右忠が後を継ぐ。安徳天皇潜幸伝説も。平知盛・家長討死伝説。八女市は討たれた家長の妻が逃れた所。筑後市は平宗清が隠棲。みやま市は平家落人の集落。平家と源氏の追討軍戸の最期の闘いの場所という。柳川市は六騎の平家の落人が住み着いて漁師になった。

佐賀県

佐賀市は壇の浦から平家が落ち延びた。武雄市は平家の落人が領主の後藤氏にかくまわれた。嬉野市は平維盛が隠棲。唐津市は平清経が落ち延びた。

長崎県

諫早市は平時実とその一族が隠れ住んだ。安徳天皇潜幸伝説。佐世保市は平家落人が隠れ住んだ。同市宇久島は平家盛が壇の浦から落ち延びて上陸。宇久氏を名乗る。大瀬戸町は平家落人の里。対馬市は安徳天皇潜幸伝説。

大分県

宇佐市は壇の浦から落ち延びた安徳天皇は宇佐八幡宮に大宮司にかくまわれた。九重町は平家落人の隠れ里。竹田市も平家落人の隠れ里。

熊本県

山都町は平重盛が壇の浦から落ち延びて隠棲。平家の女官たちが落ち延びた平家を追ってきた。安徳天皇潜幸伝説。陵墓あり。宇土市は安徳天皇陵。八代市は五家荘が平清経の隠れ里。平家女官の玉虫御前が屋島から逃れ着き、追討に来た那須与一の子宗治と夫婦となる。平家落人の伝えた「久連子古代踊り」(国無形民俗文化財)がある。御船町は玉虫御前の出生と隠棲地。五木村は平家落人の里。南朝の懐良親王の伝説も。天草市は壇の浦から落ち延びた平行綱(多田行綱)の末裔伝説。水俣市は平家落人の隠れ里。諸塚村は平家落人の隠れ里。椎葉村は平家落人の里で、平家の鶴富姫と追討に来た那須大八の恋伝説。那須家はその末裔。

宮崎県

都城市は平家落人四家の伝説。串間市は平家落人の肥田藤五が家臣を率いて逃れ住んだ。

鹿児島県 霧島市は平家落人の隠れ里。垂水市は平

野氏は壇の浦から落ち延びた平家落人の末裔。他に平家落人の隠れ里が三か所ある。錦江町は平家落人の隠れ里が二つある。肝付町は平家落人の隠れ里。南九州市は平家落人の里。枕崎市は平家落人金子氏の里。薩摩川内市の甑島

は平家の落人が上陸。三島村は安徳天皇潜幸・末裔伝説。陵墓あり。平家残党追討の為大庭家政が来たが平家の娘と恋に落ちる。西之表市・中種町・南種町は平行盛の子信基が種子島に渡り、種子島氏となる。屋久島町は壇の浦から逃れてきた平盛久らが屋久島に上陸。十島村はトカラ列島の島々に平家落人伝説。喜界町は平資盛率いる平家の残党が壇の浦から逃れてきて喜界島に上

陸。奄美市は平資盛・有盛・行盛の三人が喜界島を経て奄美大島に渡る。

沖縄県 宮古島市は平家落人の地。竹富町は赤山

王という平家落人が流れ着いた。^②

北海道を除く全国で平家の落人関係の伝説がある。一部は南朝伝説と重なる。辺境の故でもある。前掲の説明中、山奥部の為か「落人集落があった」と過去形で記した所のほとんどがダムによる水没か人口減による離村・消滅地区である。南朝伝説地と重なる所もある。

歴史文学の重要性は、今現在も物語の登場人物の関係者が現実が続いている点である。単に過去の話ではない。また、敗者の伝説がこれ程存在するのも日本人の敗者に同情する特異性であるうか。判官鼻眞の一側面が見える。勝者の伝説よりも哀れを誘う分、一人口マンを感じる。

特に平家落人伝説を積極的に町おこしに利用している自治体等には教育や地元の繁栄のためにも積極

的に協力してよい。

特に熊本県の、玉虫御前伝説は扇の横の横にいた女性の後実譚でもある。彼女を中心に五家荘・五木村・三船町の伝説、又国堺を越えればすぐに宮崎の椎葉村の那須伝説（鶴富姫伝説）とつながる。また、鶴富姫の墓が那須家の本拠地の栃木県（下野国）大田原市にある^③のもかなり大きなネットワークがあったようだ。アクティブラーニング等を利用して、調査して見るのも有益な教育といえよう。

作品を読み、地元の生きた教材を知り、地元の人と話し、聞き、書き留めることは国語教育の基本の一つでもある。

注

- 1 「『平家物語』国語教育の一側面（2）」（4）
『尚綱語文』5～7号（二〇一六～二〇一八・平成28～30）（副題略）

- 2 参考として『平家物語大事典』（二〇一〇・平成22）（学研）・松永伍一著『平家伝説』中公新書（一九七三・昭和48）等を核にインター

ネット等を利用した。

- 3 注1。『尚綱語文』5号